



東京医科歯科大学病院の理念と基本方針
●理念：世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 人々の信頼に応える社会に開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655
(地域連携室) 医科 FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



医療連携だより



シリーズ 認定看護師のご紹介

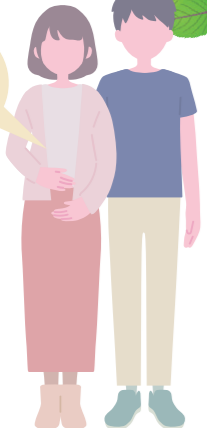
第5回 不妊症看護認定看護師

当院で活躍する認定看護師を紹介します

若年がん患者の治療成績の向上に伴い、がん治癒のみをゴールとするのではなく、その後の人生の QOL を考慮した治療戦略を個別に検討することや、長期的な健康問題に対応することが求められるようになってきました。その一つとして、親となれるよう妊孕性(妊娠する力)を温存する治療が重要視されています。当院は、2015年より精子・卵子凍結保存、卵巣組織凍結ならびに自家移植に関して、当院倫理委員会・日本産科婦人科学会の承認を得て、積極的にがん生殖医療を行っている施設です。認定看護師として、患者さんが将来子どもを授かるか、授からないかを自ら選択できるよう情報提供を行い、患者さんそしてご家族とともに意思決定ができるよう支援しています。



不妊症看護認定看護師
有川 淑恵



チームのご紹介

メンタルヘルス・
リエゾンセンターより

周産期メンタルケア チーム

センター長 竹内 崇

産後うつ、妊産婦の自殺、児の養育不全、虐待問題など周産期におけるメンタルケアは大変重要な課題です。当院でも産科の先生方が虐待予防の観点から、多職種による支援体制を構築したことに始まり、現在は、「母子支援システム」と称した産科医、新生児科医、精神科医、助産師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士などの多職種協働による周産期支援を行っています。

この「母子支援システム」とは、社会的ハイリスクの評価、おおようつ病・不安障害スクリーニングを、当院で出産予定のすべての妊娠女性に行うことにより支援対象を特定し、妊娠初期から介入する仕組みです。月1回の母子支援会議、週1回の周産期カンファランス、必要に応じて地域関係者会議を開催して、情報共有や支援方針の確認をしています。



リエゾンセンター副センター長の松岡裕美看護師、竹内崇センター長(右)

センター長のご挨拶



東京医科歯科大学病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)

井津井 康浩
(いつい やすひろ)

2021年10月1日より東京医科歯科大学病院としてスタートし、早くも3ヶ月が過ぎ、無事に新しい年を迎えました。医学部附属病院と歯学部附属病院とが一体化することで、医療連携の面では歯系診療部門との連携を院内外で強化しながら、連携医療機関の皆様にご負担をおかけしないように努めてまいりました。現在、コロナ陽性入院患者が減少しており「コロナ禍の平時」を保たれていますが、オミクロン株の感染拡大も懸念されており、万全なコロナ感染対策の継続が当分続きそうです。本来ならば連携医療機関の皆様へ東京医科歯科大学の特色を直接ご説明したいところですが、コロナ禍により実現が難しいためオンラインでの講演会を11月に初めて企画しました。詳細は記事を御覧ください。また、10月から感染症内科が開設され、当院の感染症診療体制がより一層強化されました。今後も皆様とコミュニケーション不足にならないように、オンライン等で交流の機会を増やして、医系と歯系を統合し、世界最高レベルの「トータル・ヘルスケア」を提供する体制を整えていることをお伝えし、「患者さんの発症前から一生にわたり支え続ける医療」の提供にご協力いただければと考えております。

新メンバーのご紹介

清水 紗子(しみず しょうこ)

●地域連携室

歯系診療部門の地域連携業務を担当しております。地域医療機関とスムーズに連携をとりながら、迅速な対応を心がけて皆様のお力になれるよう努めます。



当センターに2021年10月より着任した
スタッフからの
メッセージをご紹介します。

医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 内田病院長のご挨拶
- 水口首席副院長のご挨拶
- 2023年度完成予定の機能強化棟ご紹介
- 感染症内科のご紹介
- 医療連携支援センター WEB 講演会が開催されました
- 認定看護師のご紹介「第5回 不妊症看護認定看護師」
- 周産期メンタルケアチームのご紹介
- 新メンバーのご紹介

新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください

<https://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/contribution/>

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っています。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。配信をご希望される場合は、地域連携室へお電話をお願いいたします。



TEL: 03-5803-4655



2021年10月1日より医学部附属病院と歯学部附属病院が一体化し、「東京医科歯科大学病院」としてスタートいたしました！

ご挨拶



東京医科歯科大学病院
病院長
内田 信一

医学と歯学の融合、相乗効果でより高いレベルの医療を提供します

東京医科歯科大学病院は2021年10月1日にスタートしました。これまで2つの病院を支えてくださった皆様に深く感謝いたします。

「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する」という理念と4つの基本方針は、「安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院」という医学部附属病院の理念と、「優れた医療人の育成に努め、患者さん一人ひとりにあった最高水準の歯科医療を提供する」という歯学部附属病院の理念を継承しつつ、さらに高いレベルの「東京医科歯科大学病院」をスタートさせるために定めたものです。

2023年度には「機能強化棟」が完成予定で、新時代の救急医療と高度先進医療を提供する拠点、そしてお茶の水・湯島に集う人々のオアシスが誕生することにも胸が高鳴ります。

2つの病院を束ねる初代病院長として、これから学ぶべきことが多くありますので、皆様のご指導やご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。



東京医科歯科大学病院
首席副病院長
水口 俊介

2つの病院の力を1つにまとめ世界最高水準をめざします

初代の首席副病院長として、私は「歯系診療部門」を統括する役割を担うことになります。内田信一病院長との連絡を緊密に取って、東京医科歯科大学病院らしいトータル・ヘルスケアを一人でも多くの患者さんに提供できるような体制整備を推進します。

私の専門は高齢者歯科学と全部床義歯補綴学で、簡潔には高齢者の口腔ケアと総入れ歯の制作を行っています。口は栄養の入り口で、特にさまざまな疾患を抱える高齢者のトータル・ヘルスケアには、口だけでなく全身面での健康管理が必須となるため、病院一体化によってさらにきめ細かい診療を提供し、新しい研究成果を世界に発信できると期待しております。

医学部附属病院と歯学部附属病院が一体化することによって次々に生まれる新しい成果が、人々の健康に貢献し、「唯一無二の病院」として世界中の人々から注目いただけるように職員が一丸となって奮励努力してまいります。



2023年度完成予定の機能強化棟ご紹介

医科棟と歯科棟を結ぶ新しい施設として2023年度に「機能強化棟」が完成する予定です。

機能強化棟はその名の通り、免震構造、自家発電システム、医療情報の管理など、災害時に強く、病院を守る機能を強化しています。それだけでなく、地上7階、地下2階で、交通アクセスもさらに充実する予定で、地域の人々が集うスペースも提供する準備を進めています。

感染症内科のご紹介 院内外の連携で感染症を予防・治療 診療科長 具 芳明

感染症内科は2021年10月に開設された新しい診療科で、感染症の適確な診断と治療に加え、感染制御部とともに院内感染を予防する活動も行っています。院内外の連携を活かし、感染症を防ぐこと、起きた感染症を早くみつめて上手に治すことに力を注いでいます。

また国内外で大きな問題となっている薬剤耐性（AMR）対策や病院内で発生する感染症に関して、疫学研究を中心にを行っています。

取り扱う疾患は、感染症全般（肺炎、尿路感染症、血流感染症、手術部位感染症など）です。

日常業務としては、各科からの連絡に対応し、入院患者さんを中心に、さまざまな感染症の診断と治療を行っています。発熱など感染症が疑われる症状の原因となっている微生物を突き止め、その微生物や患者さんの状態に合わせて最適な治療法を選択します。

現時点では外来受診の受け付けは行っていませんが、連携病院の皆様と情報共有することで、感染症の診断と治療に役立てて行ければと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



具 芳明診療科長（左）と田頭保彰医師



ICUの患者さんを回診の様子



感染症内科ホームページ

医療連携支援センター WEB 講演会 「整形外科の最先端治療」を開催しました

医療連携支援センターでは、連携病院の皆様当院の特色ある診療についてご理解を深めていただくためにWEBを活用したオンライン講演会を企画しております。11月15日には「整形外科の最先端治療」をテーマに、脊椎、股関節、膝足・スポーツ、上肢、小児、外傷、腫瘍の各グループがそれぞれの取り組みについて説明しました。視聴者は約75人にのぼり、「たいへん参考になった」などの声が届けられました。

開催概要

日時：2021年11月15日（月） 18:30～20:00

演題：整形外科の最先端治療－東京医科歯科大学整形外科の取り組み

東京医科歯科大学整形外科では、頸椎後縦靭帯骨化症に対する前方骨化浮上術、半月板逸脱に対する鏡視下Centralization法など、最先端の治療を行っているほか、すべての整形外科分野において質の高い医療を提供しています。



（左から）大関信武助教、吉井俊貴准教授、井津井康浩センター長、古賀英之教授



司会の井津井康浩センター長（左）、大川淳教授（中）、吉井俊貴准教授（右）



司会の井津井康浩センター長（左）、古賀英之教授（中）、吉井俊貴准教授（右）